

記者配布資料

平成27年(2015年)7月1日

所属名	所属長名	部局長・担当者名	連絡先
山口県立大学	学長 ながさか ゆうじ 長坂 祐二	国際文化学部長 みずたに ゆみこ 水谷 由美子	083-928-3423
発表内容の 関係地域	全県、岩国、柳井、周南、山口、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩、首都圏		

1 件名

「アグリアート・フェスティバル2015 和敬静寂～夏は涼しく～」の開催について
——トークショー × コンサート × 農ガールコレクション<農作業着ファッションショー>——

2 趣旨

近年、農業の分野では山ガールならぬ「農ガール」といった言葉が生まれるなど、若者世代を中心にライフスタイルとしての農業が注目を浴びています。

本学企画デザイン研究室は、若者に地域に対する関心を持ってもらい、農業従事の楽しさを知ってもらうため、自らブランド米を開発されている安倍昭恵内閣総理大臣夫人とともに、農業者のワーキングスタイルに応えるようなファッションの研究開発に取り組んできました。

今回のコレクションでは、日本の茶道文化に着想を得るとともに、山口の地域素材を使用しながら、日本の農業文化・産業の活性化を目指すファッションを、日本の棚田百選に選ばれた長門市油谷から発信します。

3 日時・場所等

(1) 日時

平成27年7月26日(日) 14:00開場/14:30開演(ロビー展示:13:00～)

(2) 会場

ラポールゆや(長門市油谷新別名833/TEL:0837-33-0051)

(3) 内容

■トークショー

「日本一美しい油谷の棚田創生と若者による農業の未来」

安倍 昭恵(内閣総理大臣夫人)

大西 倉雄(長門市長)

松浦 奈津子(一般社団法人おんなたちの古民家代表)

モデレーター:水谷 由美子(山口県立大学国際文化学部長・教授)

■コンサート by レチスマック

大谷 祥子(箏曲奏者) × 安倍 昭恵(金子みすゞの詩朗読)

■農ガールコレクション

山口県立大学企画デザイン研究室 presents

特別ゲスト:木村 優(KOKOkim デザイナー・タレント)

青木 美佐子(日本ロリータ協会会長)

若者向けの新たな農作業着「モンペッコ」(昭恵氏との共同開発作品) 他

4 その他

入場無料・事前申込制

※ 実行委員会事務局宛てメール又は電話にて申込みをお願いします。

5 申込み・問合せ先

アグリアート・フェスティバル2015 実行委員会事務局（山口県立大学内）

TEL：083-928-3423（月～金：8:40-17:10）

メール：myumiko@yamaguchi-pu.ac.jp

担当：水谷 由美子



アグリアート・フェスティバル 2015

トークショー×コンサート×農ガールコレクション



和敬清寂 ~夏は涼しく~

2015年 7月 26日(日)

14:00 開場

14:30 開演

ラポールゆや (山口県長門市)

入場
無料

事前申込制

● トークショー

「日本一美しい油谷の棚田創生と若者による農業の未来」

安倍 昭恵 (内閣総理大臣安倍晋三夫人)

大西 倉雄 (長門市長)

松浦 奈津子 (一般社団法人おんなたちの古民家代表)

モデレーター: 水谷 由美子 (山口県立大学国際文化学部長・教授)

● コンサート

大谷 祥子 (箏曲奏者) × 安倍 昭恵 (金子みすゞの詩朗読)

● 農ガールコレクション

山口県立大学企画デザイン研究室 presents

特別ゲスト 木村 優 (KOKOkim デザイナー・タレント)

青木 美沙子 (日本ロリータ協会会長)

● ロビー展示

モンペッコ販売など 13:00~

企画運営 | 安倍 昭恵×大谷 祥子×荒川 祐二×水谷 由美子
山口県立大学企画デザイン研究室

主 催 | アグリアート・フェスティバル2015実行委員会
ジャポニスム振興会 <http://japonisme.or.jp>
一般社団法人おんなたちの古民家

共 催 | 長門市

○ お問い合わせ・申し込み先

アグリアート・フェスティバル2015 実行委員会事務局

〒753-8502 山口県山口市桜島3-2-1 山口県立大学内

Tel: 083-928-3423 担当: 水谷

Email: agr20150726@gmail.com

(氏名, 電話番号, 参加人数を明記)

アグリアート・フェスティバル2015

トークショー×コンサート×農ガールコレクション

「和敬清寂 ～ 夏は涼しく～」

2013年に安倍昭恵内閣総理大臣安倍晋三夫人と山口県立大学企画デザイン研究室が共同で若者が着たい農作業着を開発し、地域の農業振興を願って、長門市の協力を得て長門市油谷でファッションショーを開催しました。

2014年からジャポニスム振興会の支援を受け、アグリアート・フェスティバルとし、ファッションショーに加えて農業を支える日本人の精神文化や芸術も取り入れた芸術文化の祭典として開催しています。地域の農作業着にも関わった柳井縞や玖珂縮などの染織工芸や、新作やまぐち織による農作業着「モンベッコ」(もんべ)などの服飾文化、そして全国に誇る油谷東後畑で育てられた棚田米に焦点を当ててきました。今回はモンベッコをはいて植えたお米でできた「モチベッコ」など山口発全国発信の6次産業も紹介します。

今回のフェスティバルでは、茶道の原理「和敬清寂 ～夏は涼しく～」をテーマに、日本人が育んできた人を思いやり、もてなす心に学び、農業とともにある自然を敬い共存する心に注目します。「和」は心を開いて仲良くすること、「敬」は敬い合うこと、「清」は心の中まで清らかであること、そして「寂」はすべてを受け入れ、動じないことを意味しています。自然と人間との関わりの真髄を謳う金子みすゞのふるさとで、あらゆる垣根を越えて地方創生の詩を一緒に奏でましょう。

▷ 農ガールコレクション モンベッコ共同開発



〈名誉理事長 内閣総理大臣 安倍晋三夫人〉

安倍 昭恵

聖心女子学院幼稚園から高等学校卒業。
聖心女子専門学校英語科卒業。
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科修了。
株式会社電通、新聞局を経て1987年安倍晋三氏と結婚。
ランニング、ゴルフ、お米づくり、薙刀が趣味。



〈実行委員会委員長 山口県立大学国際文化学部長 教授〉

水谷 由美子

山口の地域資源を活かし、服飾デザインを通して、地域のブランディングや商品開発について産学公連携による研究創作やラップランド大学との共同研究を行っている。またサービスデザインの手法を取り入れた、サステイナブルなデザインアプローチを実施。

▷ 「縞」の伝統と現代

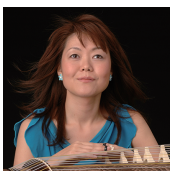
古代より、人々の暮らしに寄り添ってきた縞文様。始まりは海の向こうの島々から渡来した異国の文様を意味したことから、島(縞)と呼ばれるようになりました。そして、それぞれの地方や家の顔として、素朴で自然な縞文様が数多く表現されてきました。

日本の伝統を継承していくため、現代のライフスタイルに沿った縞文様を、今年の「やまぐち縞raita2014」に続き、「やまぐち縞takijima2015」として新たに提案します。

▷ 企画デザイン研究室 学生スタッフ

小田玲子・甲斐少夜子・原田章子 (大学院国際文化学研究科)
中村正代・齊藤輝・荒木麻耶・加藤史織・白井香澄
手嶋優衣 (国際文化学部文化創造学科)
渡辺詩織 (国際文化学部国際文化学科)

▷ 出演者 (コンサート・農ガールコレクション)



大谷 祥子

ジャポニスム振興会副会長。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。平成25年度第68回文化庁芸術祭新人賞受賞。古典邦楽のみならず、様々なジャンルのアーティストと競演、全国でコンサート活動を展開。僧侶としての活動の場も広がっている。



木村 優

世界で1番ピンクなクリエイター！
2009年外務省より原宿ファッション日本代表の「カワイイ大使」に選ばれ、日本だけでなく世界各国のクールジャパンイベントでクリエイター、タレントとして活躍。近年は声優としても活躍。



青木 美沙子

日本ロリータ協会会長、ロリータモデル、看護師。
2009年外務省よりロリータファッション日本代表の「カワイイ大使」に選ばれ、日本発祥のロリータファッションを通して日本を好きになってもらう活動をし、現在までに20か国30都市以上を歴訪。

▷ アクセス

山口宇部空港より車で約1時間半
JR厚狭駅より美祿線+山陰本線で約2時間
美祿 ICより車で約1時間
JR人丸駅より徒歩10分

